



東京都済生会中央病院附属乳児院 2019 年度 第 1 号 2019.6.30.発行



東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 山中一郎

5月後半には、これまで経験をしたことのないような暑さにビックリしてしまいましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

5月9日には「こいのぼり会」を行い、子どもたちやその保護者の方々、ボランティアさん、当院を巣立った子どもたちや保護者の方々も参加して、とても楽しい時間を過ごしました。子どもたちは音楽に合わせて踊ったり歌ったり、元気に走り回っていました。ご参加された皆様、ありがとうございました。

乳児院の前の風景もすっかり変わりました。重機の搬入や通行もあるために広範囲に鉄板が敷かれています。工事区画の中では、地下16メートルまで打つ杭の準備工事として、地下のコンクリートに穴を開ける作業で大きな音が響いています。この後、杭工事、基礎工事、鉄骨工事と進んでいきます。

足元が悪くなっておりますし、工事の音で通行する車の音も聞こえづらくなっていますので、ご来院の際には十分にご注意をいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、日頃よりボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になっております。子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、皆様方のおかげと感謝しております。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

### 理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。

(「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に手を差し伸べることです)

### 基 本 方 針

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てます。
3. 感動や成功体験を通し、自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】 当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。詳しくは下記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理

【建て替え寄付金について】 当院では建て替えに伴い寄付金を募っています。ご協力をお願いします。詳しくは下記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理



# こいのぼり会



5月9(木)に「こいのぼり会」を開催しました。子ども達は、おしゃれな洋服を着て、いつもと違う雰囲気味わっている様子でした。職員からの出し物として、ペープサートを用いた「バスがきました」のお話と、「バスにのって」の曲に合わせたふれあい遊びを行いました。子ども達はペープサートの動物を、「あっ!」「そう!」などとお話しながら、真剣な眼差しで見つめていました。また、ふれあい遊びは大人の膝に乗って揺られるのが楽しい様子で、「わー!」「きゃー!」と元気な声を出して遊んでいる姿がありました。ボランティアの方々をはじめとした皆様のご協力により、子ども達のたくさんの笑顔が見られる会となりました。

保育士 本柳 美緒



今年も沢山の方にご来院頂き、短い時間ではありましたが、とても楽しいこいのぼり会になりました。

会場到着後の子ども達の表情は、少し緊張しているような感じがしました。会が進むにつれ、慣れてきたのか徐々に表情も明るくなり、職員の出しもので行なった『バスにのって』のふれあい遊びでは、大人と関わりながら楽しそうな姿が見られました。ボランティアさんが読んで下さった絵本は、集中して聞いている姿があり、自分たちの知っている動物が出てくると「くまさん!」などと元気に指をさしながら参加していました。

楽しんでいる子ども達の姿を近くで見ることができ、とても嬉しく思います。今後も、子ども達と共に素敵な思い出を作っていきたいと強く感じたこいのぼり会でした。保育士 越川 むつみ



## 看護師コラム

### ～気を付けよう熱中症～

夏の強い日差しや高温多湿の気候は、子どもの体に大きな負担がかかります。中でも心配なのが、熱中症です。熱中症は、汗がかけなくなることで体温調節が出来なくなるために起こります。一般的に気温 32℃以上、湿度 60%以上の環境で、十分な水分補給をしないで運動すると発症しやすいと言われています。さらに子どもは、大人よりも脱水症状を起こしやすいので、より注意が必要です。熱中症にならないために、外に出る時間帯や長さに配慮し、必ず帽子をかぶりましょう。こまめな水分補給も必要です。また、室内や車の中でも熱中症が急増しているので、気を付けましょう。



主任看護師 桑原 智恵





## 枝豆のポタージュ

枝豆と大豆は同じものだと知っていますか？枝豆は、大豆の未熟豆で、成熟すると大豆になります。枝豆の旬は7月～9月なので、夏にぴったりの食材です。

夏の暑さで食欲が落ちてしまったお子さまでも、冷たいポタージュは食べやすいメニューなので、冷たく冷やして暑い夏を乗り切りましょう。

管理栄養士 林 慶子

【材料】1人分：枝豆 正味約40g、じゃがいも 1/4個、玉ねぎ 1/10個、水70cc、牛乳70cc、塩少々、パセリ 適宜



### 【下準備】

- ・枝豆は塩茹でしてから鞘から出し、薄皮もむく。
- ・じゃがいもはいちょう切り、玉ねぎはスライスしておく。

### 【作り方】

- ① 鍋にじゃがいも・玉ねぎ・水を入れて、蓋をして弱火で10～15分煮る。
- ②①に枝豆を加えて2～3分煮たら火を止める。
- ③牛乳を加えてミキサーにかけ、冷蔵庫で冷やす。
- ④器に盛り、パセリをちらして出来上がり。

## 心理士だより ～赤ちゃんの力～

私が生まれた頃（50年以上も前のことです）、赤ちゃんは、何もできない、植物のようだと思われていました。もちろん、自分で歩く、食べるという自立までは動物と比べると、とてつもなく長くかかります。

その後、生まれたばかりの赤ちゃんは、たくさんの力をもっていることがわかってきました。目も見える、しかも、どんな形よりも人の顔の模様をよく見ている、自分の国の言葉を聞きわかる、お乳のにおいをかぎわかる。しがみつくような格好も、微笑みのような表情も、そして泣き声でさえ、赤ちゃんの意思とは別の動きですが、大人をひきつけ、かかわる力の土台となっているのでしょう。赤ちゃんは、生まれながらにして人に関心を向け、また、人から注目をされるような力をもっているのです。

首がすわると、大人やお友達の動きを追って見えています。寝返りができると、手を伸ばし触ったりつかんだりしています。動けるようになると、自分から近づいて、くっついったりなめたりし始めます。



人は共に生きていく。かたわらに誰かが一緒にいる。その力を赤ちゃんがもって生まれてくることを思い出し、大切にしたいと改めて思います。

臨床心理士 柴田 薫



# 新入職員紹介



## 保育士

外で体を動かして遊ぶことが好きです。よろしくお願いします！

## 保育士

子ども達が、毎日安全に、笑顔ですごせるよう、精一杯サポートしていきたいと思います！

## 保育士

一日一日を大切に、健やかな発達を促せるようサポートします。



## 保育士

子ども達が、素直に笑ったり泣いたりできる環境を作っていきたいです。



## 保育士

子どもの気持ちを読み取り、過ごしやすい環境を作っていきたいと思います。

## 保育士

お子さんの気持ちに寄り添い、お子さんが毎日幸せに過ごせるようにしていきたいと思います。

## 保育士

お子さんや職場の先輩方と一緒に、楽しみながら働けるように頑張ります。

## 管理栄養士

楽しく思い出に残るような、趣向を凝らした献立を考えていきます！

## 管理栄養士

食事の時間が子どもたちの楽しみとなるよう、来年の新設に向け、頑張ります！



## 看護師

子ども達が、毎日安心して楽しく笑顔で過ごせる様に頑張ります。

## 看護師

子ども達が、いつも笑顔でいられるように、気持ちに寄り添い、丁寧に関わっていきたいです。

## 看護師

子ども達の健康を守る事と、1日を大切に成長のお手伝いをしていきたいです。



## 保育士

子ども達と、毎日楽しく遊びたいです。

## 【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子

## 【編集後記】 暑い日が多くなってきましたね。

プールやスイカわりなど、夏を子ども達と一緒に沢山楽しみたいです。(N. T)

すくすく 第68号 2019.6.30. 発行

発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子

山口 美穂 武田 典子 古賀 朔美 田中 英美